

理事会議事録

日 時 2022年6月8日(水) 19時～20時50分

場 所 地域交流センター西原 2階「交流室B」

注 記 議長:松村、書記:成田

出席者(敬称略):23名

近藤(副会長)、松村(理事長)、池澤(副理事長)、小野寺(副理事長)、富樫(副理事長)、祝迫(事務局長)、堀(千代田)、石渡(中央)、小林(台東)、加藤(江東)、小沼(葛飾)、小杉(江戸川)、浅見(八王子)、澤口(青梅)、中内(小金井)、古橋(日野)、斉藤(西東京)、坂本(世田谷)、川上(練馬)、神谷(関東学連)、林(関東学連)、福島(登録担当)、成田(会計、書記)

●報告事項

【理事長】

1. 都ア協総会(5/25)
 - ・27地区の評議員、正・副会長全員、最高顧問の参加の上、全ての議案が承認されました。
 - ・皆様の事前資料準備から当日の運営協力のおかげで、無事終了する事ができました。素晴らしいチームだと誇りに思います。ありがとうございます。
2. 都民体育大会(5/29)
 - ・小池百合子都知事にサプライズ訪問を頂き、お言葉を頂戴しました。また、夢の島射場の周囲に柵の設置が必要である事をご確認頂けました。
3. 関東学連の役員が都ア協競技会に出役する際の服装について
 - ・都ア協競技会に出役する際の服装について、当面は、関東学連の服装(黒色上下)に赤帽子で受け入れる事にします。
 - 服装規定との合致について、今後検討を進めていく予定との事。

【競技部会】

1. 光が丘で信号機ブザーの不具合発生
5月22日光が丘で行われた50m・30mラウンド大会で、信号機のブザーの不具合が発生し、急遽、練馬区ア協のブザーを手動で使用しましたが、スタート時間が30分遅れました。昼休みにブザーの故障原因が判明し修理後、午後の競技は通常通り行いました。
→原因: ブザーの空きコネクターのピンが曲がり他のピンと接触しショートしていた。
2. 都民体育大会の成績報告書を都体協に提出しました。
他の報告書は、6月中に提出予定。

【普及育成部会】

1. 2022年度夏休み小学生・中学生オープン in 夢の島大会要項配信

【強化部会】

2. TEAM 東京 国体強化事業
 - ・5月26日(木)東京都体育協会主催 競技力向上委員会ヒアリング出席

- 本年度の目標と取り組みについて 出席者:松村理事長、齊藤
- ・第77回国民体育大会アーチェリー競技東京都選考会の出場者名簿配信
 - ・令和4年度オリンピック等日本代表候補選手強化事業について選手決定
- 木下 征史(渋谷区アーチェリー協会)
小林 司(日本体育大学)、
西岡 尚美(渋谷区アーチェリー協会)
木村 美保(日本体育大学教員)
以上4名

※6月の予定

6月12日(日) 第77回国民体育大会アーチェリー競技東京都選考会実施

3. 13期生トップアスリート発掘・育成事業

- 第1回練習会 5月3日(祝)(世田谷公園) 選手5名出席
- 第2回練習会 5月15日(日)(江戸川総合体育館)選手4名出席
- 第3回練習会 5月22日(日)(小金井公園)選手5名出席

※6月の予定

- 5日(日) 第4回練習会
- 19日(日) 第5回練習会
- 26日(日) 第6回練習会

【審判部会】

1. 競技規則改正に伴う伝達講習会

- 6月11日(土)新宿スポーツセンター 大会議室にて開催予定
 - 6月4日(土)申し込み締め切り: 6月6日までに全ての協会より申し込みを受けた。
- 個人:会場参加6名、オンライン参加24名

2. 都民大会 Ianseio 不具合報告

〈不具合内容〉

- ・入力端末に点数を入力できない、Wi-Fi が切れる
- ・団体戦に特定の選手の点数が反映されない

〈原因として考えられること〉

- ・70mラウンドの競技会とは異なり、入力する点数が3本であったため、通信が集中してしまった
- ・当日変更の選手が多く、急いで Ianseio ファイルを修正してスコアカードを印刷しなければならなかったため、団体の紐づけができていなかった

〈改善と対策〉

- ・ルーターを処理能力の高いものに変更する
- ・当日の選手変更、男子チームに女子選手が入ることは最もトラブルが起きやすいためやめる
- ・ランキングラウンド同様、マッチ戦のスコアカード(白紙)も準備しておく

〈審判部会長より〉

Ianseo を使用して、都民大会と同規模の的数の競技会ならびにマッチ戦は問題なくできていました

そのため、都民大会についても Ianseo を使用すれば、全チーム参加で当日予選、足切りなしのマッチ戦も実現可能と判断しましたが、想定外のトラブルとはいえ、これに速やかに対応できなかった Ianseo チームに、団体戦の経験が乏しかったことは認めざるを得ません。

スケジュール通りに競技運営をできなかったことにお詫び申し上げます。今後は、何らかの機会でも Ianseo を使用した模擬団体戦を実施して研鑽を積むとともに、都民大会参加団体の皆さまにおかれましても、トラブル回避のために急な選手変更、イレギュラーな参加形態は難しいことをご了承いただければと存じます。

都民大会のルールおよび選手エントリー方法については、来年度より変更できるように今秋の都体協への提出締め切りまで検討することとした。

・選手名はパンフレット印刷前に確定(大会 1 週間程度前)していることが望ましい(パンフレットを基に用具検査が可能)。補欠の取り扱いを明確にする。

・男子チームは男子のみにする等の参加形態にする。

・選手の参加基準が、都体協で検討されており、決定次第共有する。

【総務部会】

1. 各区市ア協の組織表・現況届の収集状況報告

6/6 現在、以下8協会の提出が確認できておりません

01 千代田区、03 港区、05 台東区、09 葛飾区、16 日野市、

18 西東京市、27 豊島区、28 北区

入れ違いでご提出頂いておりましたら、申し訳ございません。

【関東学連】

1. 花の山にて、フィールド講習会を実施(5/29)

ご多忙にも関わらず、貴協会から講師をご派遣していただきありがとうございました。

2. 貴協会主催の大会における役員派遣への参画

先日 Google フォームに登録させていただきました。ご確認をお願いいたします。

別紙①

【東身ア協】

返答なし

●協議事項

【副会長】

1. 文部科学大臣表彰を受けての都ア協表彰事業について 別紙②
都ア協表彰事業について異議はなく本要項を施行することとした。
なお、どの様な形で表彰を行うかは常務理事会で検討する。
2. 公認競技会運営プロジェクトチームの設立について 別紙③
理事長の諮問機関としてプロジェクトチームを設立することとし、本要項を施行することとした。
なお、審議会の委員数は 11 人以内として「各ブロックから推薦された者」を「各ブロックおよび東京都高等学校体育連盟アーチェリー専門部から推薦された者」とした。各ブロックからの推薦者は会場の状況を把握している方にさせていただく。
審議会の開催は都ア協の理事会・常任理事会と同日の理事会終了後に行うこととした。

【理事長】

1. 関東地区ターゲット大会
 - ・参加賞は、和手ぬぐいを用意する予定
 - ・入賞者メダルについては、来月理事会で決定する予定入賞者メダルの取り扱い業者は、高体連から紹介を受けることとした。
2. 第 77 回国民体育大会関東ブロック大会準備
東京都実行委員会事務局(都庁)から、五月雨式の指示に従い、準備を進めております。

<関東競技団体分担金納入>

- ・20 万円の請求(4/25)があり、関東ア連(吉成事務局長)より直接納入済み(4/28)

<大会運営助成金の内示について>

- ・総額 1,445,700 円(科目を越えての費用運用は可)(4/25)

<プログラムの作成>

- ・開催要項(配信済) 別紙⑤
- ・大会役員の委嘱が必要(委嘱状例文は別途あり) 別紙⑥

名誉会長: 江東区長

顧問: 江東区議会議長、教育長等

参与: 江東区主管課長

→江東区ア協の仲介の下、松村が江東区にご挨拶に行きたい。

<運営準備について>

- ・人員の確保については、以下の分担でお願いします。

審判員・記録: 審判部会

総務(受付・会場係・警備): 競技部会

【競技部会】

1. 2023 年度武道館と駒沢オリンピック公園優先申し込みについて

- ① 武道館の申し込みは、2023 年度も行わない予定。
- ② (過去 5 年利用可と成った事が無い。)
- ③ 駒沢オリンピック公園へは、室内選手権大会とインドアオープン 2024 の会場として申し込む予定。
- ④ 駒沢第一球技場の申し込みは、
 - ・2022 年度は、7大会申し込み 6大会の会場を確保
 - ・2023 年度は、6 大会申し込む予定、4 月、5 月、6 月、7 月、9 月、10 月。→6 月末の申し込み期限までに、日程と大会内容を協議し決定後、優先事業計画書を提出予定

駒沢第一球技場の申し込みは、4 月、5 月、6 月の 3 大会とすることとした。

※シーズン終了時の畳の状況確認が必要と考え、理事長判断で 10 月を追加します。

【普及育成部会】

1. 7 月 23 日 夏休み小中学生オープン大会役員

競技委員長 近藤均さん

審判長 小杉さん

DOS 加来さん

斉藤さんに依頼する

記録員 4 名

審判員 必要人数 18 名(36 的想定) 現在 13 名(内学連 4 名)

警備 3 名

審判員および警備で 14 名必要のため、エントリー状況にあわせて必要な人員を招集することとした。

テントの設置に関しては、別途検討することとした。

【強化部会】

特になし

【審判部会】

特になし

【総務部会】

特になし

【関東学連】

1. 一級審判員 1 名の派遣依頼

夢の島にて 8 月 20、21 日に個人選手権大会本選を実施予定です。

ご多忙の中、大変恐縮ですが、審判員のご派遣くださるようお願いいたします。

→1 級審判員派遣は承諾され、誰を派遣するかについては後日連絡することとした。

別紙⑦

【東身ア協】

返答なし

- ・登録担当者の紹介

中田さんの後を務める福島緑豊さん(葛飾区)が出席して頂き、理事会で紹介した。

- ・競技スケジュールについて

西ブロックから 5 月に実施している 900 ラウンドを秋季に実施する提案がなされた。

春期は選手においては本年度の記録取得を目指している時期であり、900 ラウンドの参加希望が少なくなる傾向がみられるため、秋季から通信大会に間に合う時期に複数回実施することが望ましいと思われる。来季のスケジュール検討の際に考慮することとした。

2022 年度東京都アーチェリー協会功労等表彰要項

2022 年度要項第 1 号

(目的)

第 1 この要項は、東京都アーチェリー協会(以下「協会」という。)が 2021 年度の生涯スポーツ優良団体として、文部科学大臣より表彰を受けたことを契機に、協会及び傘下の組織運営に役員等として貢献した者、または協会及び傘下の組織内においてアーチェリー競技の普及・振興に顕著な功績を持つ者を表彰、或いは称えることを目的として制定する。

(表彰の対象)

第 2 次に掲げる者を表彰の対象とする。

(1) 功労表彰

① 役員表彰

協会、又は傘下の組織においてアーチェリー競技の普及・振興・指導、或いは組織化に 10 年以上の経験を有し、かつ協会、又は傘下の組織の役員を通算で 5 年以上歴任し、加盟団体の代表者から推薦を受けた者

② 指導者表彰

協会、又は傘下の組織での役員歴の有無を問わず、アーチェリーの指導者として 10 年以上の活動歴を持ち、加盟団体の代表者から推薦を受けた者

(2) 競技者表彰

2019 年度以降の各種大会において優れた成績を挙げ、加盟団体の代表者から推薦を受けた者

(3) 感謝状

① 2020 年度以前に協会役員として通算 4 年以上在職し、功績顕著と認められた者

② 永年にわたり、アーチェリー競技の普及・振興のために施設を提供した者、または団体

③ その他、アーチェリー競技の普及・振興、協会の組織化に功績のあった者

(表彰の手続き等)

第 3 本表彰に関する推薦の手続、或いは表彰の決定の手順等は、東京都アーチェリー協会表彰規程(平成 15 年 3 月 5 日)の規定を準用する。

附 則

- 1 この要項は、2022 年 6 月 8 日から施行し、2022 年度末日において失効する。
- 2 この要項の施行について必要な事項は、理事長において別に定める。

功績調書

2022年度東京都アーチェリー協会功労等表彰要項に基づき、その功績を記し、表彰等該当者又は団体として推薦します。

2022年 月 日

1 組織名称 _____

2 代表者名 _____

3 表彰等区分

該当の表彰区分に✓をしてください。

(1) 功労表彰

① 役員表彰 【 】

② 指導者表彰 【 】

(2) 競技者表彰 【 】

(3) 感謝状 【 】

4 被表彰者名 _____ *団体の場合は団体名と代表者名

5 表彰等の理由(功績)

以下に具体的な功績について記載してください。主な功績のみで結構です。

東京都アーチェリー協会表彰規程

(目的)

第1条 この規程は、東京都アーチェリー協会(以下「協会」という。)規約第19条の定めるところにより、協会の充実・発展とアーチェリー競技の普及・振興に対し、永年にわたって貢献した者または団体を表彰することを目的とする。

(表彰の種類)

第2条 前条に規定する表彰の種類は、次のとおりとする。

- (1) 功労表彰
- (2) 一般表彰
- (3) 感謝状

(表彰の対象)

第3条 次の各号に一に該当し、表彰委員会において功績顕著と認めるとき、協会が表彰する。

- (1) 功労表彰は、協会加盟団体においてアーチェリー競技の普及・指導と加盟団体の組織化に10年以上の経験を有し、かつ協会及び加盟団体の役員を通算で5年以上歴任し、加盟団体の代表者から推薦を受けた者
 - (2) 一般表彰は、各種大会において特に功績顕著と認め、加盟団体の代表者から推薦を受けた者または団体とする。
 - (3) 感謝状は、次の各号の一に該当する者または団体に対して行う。
 - ①協会役員として、4年以上在職し退職したもので、功績顕著と認められた者
 - ②アーチェリー競技の普及・振興のため、永年にわたりその活動のための施設を提供した者または団体
 - ③アーチェリー競技の普及・振興のため、協会に多額の金品を寄贈した者または団体
- 2 過去において同一理由で表彰を受けた者は、対象にしないものとする。
- 3 原則としてこの表彰は、都民体育大会アーチェリー競技会の日に行う。

(推薦の手続)

第4条 協会加盟団体の代表者または協会理事長は、前条の規定に基づき、表彰候補者または団体推薦書を協会会長に提出する。

(表彰委員会)

第5条 協会は、被表彰者または団体を審査する特別委員会として、表彰委員会(以下「委員会」という。)を必要に応じて設置する。

- 2 委員会の委員は、会長、副会長、理事長、副理事長、常務理事により構成する。
- 3 委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。
- 4 委員長及び副委員長は、委員の互選とする。
- 5 委員長は委員会を招集し、会議の座長となり、会務を統括する。
- 6 副委員長は、委員長の職務を補佐し、委員長事故あるときはその職務を代行する。
- 7 委員会は、委員の定数の半数以上をもって成立する。

(委員会の職務)

第6条 委員会は、推薦書の内容を審査し、被表彰者または団体を決定する。

(会議の公開)

第7条 委員会の会議は非公開とする。

(表彰の手続)

第8条 委員会において決定した被表彰者または団体は、理事会の承認を経て表彰する。

附 則

- 1 この規程は、平成 15 年 3 月 5 日から施行する。
- 2 この規程の施行について必要な事項は、委員会において別に定める。
- 3 この規程の改廃は、理事会の承認を得て行う。

東京都アーチェリー協会一般表彰審査基準

- 1 都ア協表彰規程第3条の一般表彰は、次のとおりとする。
 - (1) 競技者表彰
 - (2) 優良団体表彰

- 2 東京都アーチェリー協会は、次の各号の一に該当し、加盟団体の代表者から推薦のあった者または団体を表彰する。
 - (1) 国際大会への出場
 - (2) **(社)全日本アーチェリー連盟主催の、全日本大会**において優勝・準優勝
 - (3) 国民体育大会において優勝・準優勝
 - (4) 関東**地区大会**において優勝
 - (5) 都民大会において3連覇
 - (6) 全各号と同程度の成績があると認められる場合

◎今後の予定

- 6月8日(水) 理事会 要項議決・施行
- 7月6日(水) 常務理事会 詳細議決・各区市、高体連への周知
- ・募集期間 7/7~9/10
- 9月7日(水) 常務理事会 応募状況中間報告
- 9月10日(土) 公募締切り
- ・最終集計作業 9/11~9/30
- 10月5日(水) 理事会 集計結果報告
- ・推薦調書取りまとめ 10/6~10/30
- 11月2日(水) 常務理事会 表彰審査会開催
- ・賞状等筆耕期間 11/3~12/4
- 12月7日(水) 常務理事会 被表彰者決定
- ・被表彰者告示 12/8~
- 1月11日(水) 理事会 兼表彰伝達式
- ・賞状等送達期間 1/12~

2021年12月28日

都ア協理事 各位

都ア協副会長 近藤 均

全ア連公認競技会役員に関する基本的な考え

1 ブロック制の維持

東西南北の各ブロックに競技会運営の主管を依頼する方式は、今後も継続することが適切と考えます。その際、主管を2つ以上のブロックに共催させる方式は適切と考えません。

ただし、試合会場によって年間の競技会開催日数が偏りつつある現状を踏まえ、各ブロックへの年間主管回数が極力公平になるよう、年間計画策定時に回数調整を行うことを提案します。

回数調整の結果、場合によってはブロック外の射場の主管になることも致し方がないものと考えます。

2 都ア協役員の役割

都ア協主催の公認競技会において、都ア協規約第8条に規定の理事等が不在ということはありません。このことは、上記第1項のブロック主管の競技会においても同様と考え、主管ブロックの都ア協理事等を複数名充てることを前提とし、これが適わない場合には、当該ブロックは他のブロックに理事等の出役を依頼して補うことが必要です。

従って、都ア協の役員就任時に審判資格が未資格の場合には、極力取得に向けて努力すべきと考えます。

3 射場管理者の育成の必要性

上記の2項目は全ア連競技規則の競技会役員数の規定を遵守するために過ぎず、競技会を開催する上での人員的な必要条件であり、ここには、競技会当日の陣頭を指揮する要素は含まれておりません。しかし、実際の競技会運営においては、資格の有無や級数よりも、当該射場を熟知する管理者的な人材が絶対的に必要となります。

当該射場指定管理者等との交渉等々はもとより、例えば備品・畳・的紙類の保管と補充・点検、射線等のペグの敷設、都立公園常設射場の場合の練習的の配置・片付け方法、最も重要な安全設備、施策の確認などの諸々を把握することは、一朝一夕には育成は適いません。

こうした人材を射場の所在区市ア協やブロック内の特定の人物に委ねることは必要な対策とは考えますが、少数に頼りきりになることへの懸念も拭えません。そこで、次代の人材育成を都ア協が行うことは、その会場で競技会を開催する主催団体としての務めと考えます。

1つの射場に複数人の「射場管理者」と言える人材を育成した上で、競技規則上の役員配置数に加配し、競技委員長と協同して競技会全般の差配を振るう必要があるものと考えます。

4 競技委員長について

いうまでもなく当日の責任者であり、全ア連競技規則上も1級審判員の務めです。各ブロックの1級審判員数に隔たりがあるため、この配置に関してはブロックにのみ委ねず、出役数に偏りが生じた際には審判部会による調整も考えなければなりません。

加えて、1級審判員の育成に取り掛かり、最低でも各ブロックに3人程度の稼働可能な競技委員長候補者を配置することが必要と考えます。

5 記録員の配置について

電子集計システム「イアンセオ」の導入により、得点計集計での計算の誤りは皆無となり、最終成績の確定も試合終了とほぼ同時に行うことが可能であり、手計算の時代からは隔世の感があります。一方で、必要機器の設置・運用・トラブル対応、インターネット接続のためのシステム管理者が必要になるため、これまでの審判業務中心の競技会役員体制に、2～3人程度の記録担当者が必要になってきました。

この担当者も、何れはブロック動員に委ねることが適当と考えますが、現状においては端末等の持ち込みやシステム全般の操作等を考えると、性急にブロックに下ろすことは混乱を招きかねません。

まずは当該システムを担当する部会を仮決めし、どのように記録集計の機械化を定着させるのかを協議していく必要があると考えます。併せて、競技会の受付や立ち順等の作成も含め、トータルでの記録業務の見直しを行うことが必要と考えます。

6 1試合の必要役員数

ここまでの考察に従い、標準的な役員配置数と動員等の考え方を提示してみます。ただし、この提案はあくまでも例示であり、東西南北ブロックの経験や出役可能者数の実態に則して順応して頂ければ、より良いところに収れんされることと考えます。

(1) 競技規則上の配置 *通常の70m・50mラウンド(72射)の場合

①競技委員長、②DOS、③審判長、④審判員(3人程度)、計6人

※ この内、2人程度は都ア協理事を含むことが適当

(2) 運営上の必要配置

①計時員、②総務委員(射場管理含む)2人、③記録集計係(2～3人程度)、計5～6人

※ 審判員資格や級数は不問だが、機器操作やその射場を理解する者が適当

7 夢の島射場の主管に当たって【新規】

東京都は、2020 オリンピックレガシーとして夢の島射場の供用を開始し、都ア協の主要競技会場として運用が可能となりました。暫くは、都ア協直轄での管理・運営を行いながら、ここでの必要な役員の育成を行う必要があります。例えば上記第6項の(2)に記載の役員の内、計時員や射場管理者等は、東ブロックが中心になって人選・育成をしていくことが現実的と考えます。

ただし、競技規則上の審判員等の競技会役員の配置に関しては、この射場での開催数が極端に増えた場合に備え、どのブロックからでも出役が可能になるよう備えることが必要です。このことは、第1項に記載のブロック間の年間主管数の均等化を図る際にも、当然に考えなければならない事項です。

また、この射場での競技会運営には、現在のところ安全対策としての警備係の配置が必要になりますが、そのための人員配置も増員・加配が必要です。この係員の現実的な配置数には、同時に射場を利用する予定の高体連ア専門部、関東学連、都ア協傘下の協会が使用する際にも標準化できるよう各組織との協議を早急に行う必要があります。

このように、新たな射場で安全で安心して競技会が実施できるよう、都ア協理事会の中にプロジェクトチーム(PT)を設置し、当面の課題の協議が必要と考えます。そして、理想的にはどのブロックが主管しても開催ができるようなルール作りのためにも、PTメンバーを各ブロックにおいても公募を行い、夢の島射場としてのノウハウを蓄積することが大切です。何より端緒が肝心と考え、ここで多少の時間をかけてでも、より良い仕組みを構築すべきです。どうか、多くの有志の力を結集していただきたいと思ひます。

以上

公認競技会の運営に関する審議会設置要項

2022 年度要項第 2 号

(目的)

第 1 この要項は、東京都アーチェリー協会(以下「協会」という。)が主催する全日本アーチェリー連盟(以下「全ア連」という。)公認競技会の運営方法の標準化や協会が指定する競技会会場における必要な役員数及び配置方法等々を協議するため、協会理事長(以下、「理事長」という。)の諮問機関として、公認競技会のあり方審議会(以下、「審議会」という。)を設置するものとする。

また、東京都が新設した都立夢の島公園内のアーチェリー場の運営や必要な役員配置等についても併せて協議するものとする。

(協議事項)

第 2 審議会での主な審議事項は次の各号による。

- (1) 公認競技会のブロック主管、直轄対応に関すること
- (2) 公認競技会役員の考え方に関すること
- (3) 全ア連競技規則との整合性に関すること
- (4) 電子集計システムによる記録の作成、及び操作に関すること
- (5) 都立夢の島公園アーチェリー場に関すること
- (6) その他理事長が必要と考え、諮問する事項

(審議会委員)

第 3 審議会の委員数は 10 名以内とし、原則として協会員から選任し、理事長が委嘱する。

- (1) 協会理事 3 人
- (2) 各ブロックからの推薦された者 4 人
- (3) 公募の委員 2 人
- (4) 学識経験者 1 人

(正副委員長)

第 4 審議会に正副委員長を置く。正副委員長は各 1 名とし、委員の互選により選出する。

2 委員長は、審議会の会議を総理する。副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けた場合には職務を代理する。

(会議)

第 5 審議会は、理事長からの諮問事項について協議し、答申を行う。協議において、必要な場合は採決を行い、可否同数の場合は、委員長の表決に従う。

2 会議の招集は委員長の申し出により理事長が行う。

3 答申の時期は 2022 年度末日を目途とし、これに合わせて会議を開催するものとする。

(会議公開の原則)

第 6 審議会の会議は原則として公開する。ただし、非公開が適当とする場合には、審議会が決定し、理事長に許可を求めるものとする。

(参考人の会議への出席)

第 7 審議会が必要とする場合、協議事項に関する必要な説明及び意見を表明するために、参考人の出席を求めることができる。参考人は、協会員であることを問わない。

(処務)

第 8 審議会の処務は、協会総務部会が行う。

附 則

- 1 この要項は、2022 年 6 月 8 日から施行し、理事長への答申日の翌日に失効する。
- 2 この要項の施行について必要な事項は、理事長において別に定める。

要項第2、第1号に規定する公認競技会が行われる会場(2022年6月現在)

(アウトドア会場)

- 1 都立駒沢オリンピック公園第一球技場
- 2 都立小金井公園弓道場
- 3 都立光が丘公園弓道場
- 4 都立夢の島公園アーチェリー場

(インドア会場)

- 5 都立駒沢オリンピック公園体育館
- 6 都立駒沢オリンピック公園室内球技場
- 7 町田市立総合体育館
- 8 葛飾区立奥戸総合スポーツセンター体育館

(フィールド会場)

- 9 花のやまフィールドアーチェリー場

◎今後の予定

- 6月8日(水) 理事会 要項議決・施行
7月6日(水) 常務理事会 委員の公募方法等の詳細決定
・委員募集の告知 7/7~8/2
8月3日(水) 常務理事会 委員の決定
9月7日(水) 常務理事会 《第1回会議》8:00~9:00
10月5日(水) 理事会 諮問内容の確認
11月2日(水) 常務理事会 《第2回会議》8:00~9:00
12月7日(水) 常務理事会 《第3回会議》8:00~9:00 中間報告
2月1日(水) 常務理事会 《第4回会議》8:00~9:00 答申文面の調製
3月1日(水) 常務理事会 《第5回会議》8:00~9:00
4月5日(水) 常務理事会 《第6回会議》8:00~9:00
5月10日(水) 理事会 答申文提出
5月24日(水) 定例総会 答申内容の報告

2022 年 5 月 30 日

東京都アーチェリー協会
理事長 松村 晃志 様

関東学生アーチェリー連盟
連盟委員長 神谷貴浩

2022 年度関東学生アーチェリー個人選手権大会本選における一級審判員派遣
のお願い

平素は関東学生アーチェリー連盟の活動に関して毎度格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連盟では、個人選手権大会本選を 2022 年 8 月 20 日(土)、21 日(日)の日程で開催を予定しております。しかし、当連盟には一級審判員が在籍しておりません。

毎回のお願いとなってしまう大変恐縮ではございますが、本事業の開催のため東京都アーチェリー協会様より、一級審判員を 1 名派遣していただきたく、お願い申し上げます。

貴協会には大変ご迷惑をおかけいたしますが、事情ご賢察のうえ、よろしくお取り計らい下さいますよう、お願い申し上げます。

記

事業名：2022 年度関東学生アーチェリー個人選手権大会本選

日程：2022 年 8 月 20 日(土)、21 日(日)

場所：夢の島総合公園 アーチェリー場

依頼事項：一級審判員 1 名の派遣

以上